



**課  
外活  
動ガイ  
ドブック  
2020**

東京理科大学 学生支援センター

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 課外活動団体の分類 .....	1
3. 顧問 .....	1
4. 公認団体・届出団体の幹部役員の心構え .....	1
5. 公認団体・届出団体が行う手続き .....	2
6. 試合や合宿等に係る提出書類 .....	3
7. 課外活動における車両の取扱い .....	4
8. 催し物・行事等の注意事項 .....	5
9. 課外活動への助成 .....	6
10. 会計監査 .....	7
11. 施設使用（教室・体育、研修、合宿施設） .....	8
12. 課外活動用ホームページ作成 .....	17
13. 保険制度 .....	18
14. 事故対策 .....	19
15. 応急・救命処置 .....	21
16. 飲酒事故防止 .....	26
17. 個人情報の取扱 .....	27
18. 学生表彰 .....	27
19. クラブ一覧表 .....	30
20. 課外活動関係内規抜粋 .....	36
21. 各種様式 .....	39

## 1. はじめに

充実したキャンパスライフにとって、課外活動、理大祭、体育祭など、学生の自主的な課外活動は重要な役割をはたしています。

大学教育は人間形成を本質的な目的としており、正課教育だけでは、その目的は十分に達成されません。課外活動は大学教育の一環ではありますが、基本的には学生の自主活動が主体で、大学はその自主性を尊重しつつ、必要に応じ助成、指導していくことが大切だと考えています。

しかしながら、自主的であるから自由であるということではありません。法律・社会通念上の常識の範囲内で行動することは勿論、大学への諸手続きが必要なことが多々あります。

本書では、主に公認団体および届出団体の手続き等について述べますが、未届団体も本書の内容を参考にして健全な活動を行うよう心掛けてください。

## 2. 課外活動団体の分類

大学が認める課外活動団体には、公認団体および届出団体があります。

- 公認団体 : 顧問を配し、大学に所定の手続きを取って承認された団体。  
教育的活動の立場から、支援金の助成、部室や倉庫の割当、各種施設の利用、保険制度の適用等の便宜が受けられる。
- 届出団体 : 公認団体に準じて、課外活動届等の所定の届け出や手続を行った団体。  
支援金の助成は受けられないが、各種施設の利用、保険制度の適用等の便宜が受けられる。
- 未届団体 : 大学に届け出のない私的なサークル。各種施設を利用できる。

## 3. 顧問

顧問は、本学の教員（教授・准教授・講師）とし、団体活動への教育的助言、安全面への配慮を行います。また、有事の際には、学生支援センターと学生の調整役として対応しますので、合宿や対外試合等を行う際は、事前に活動計画を確認してもらい、助言や指導を受けてください。

なお、本学は、顧問に対して、日々の練習の監督や指導、合宿や対外試合の引率や同伴を義務付けていません。

## 4. 幹部役員の選出と心構え

### (1) 役職

公認団体・届出団体は、以下の幹部役員を選出してください。

- 部長(会長) . . . 団体の学生総責任者
- 会計 . . . 団体の運営費を管理する学生責任者
- 副会計 . . . 会計担当の役員を補佐する者（次期会計担当者が望ましい）

## (2) 心構え

各団体の幹部役員は、学生の自主活動である団体の運営を任されていることを自覚し、大学や学外に対して責任を持った行動をとってください。

- 公認団体は「東京理科大学」の名前を背負っていることを自覚し行動すること。
- 顧問と頻繁に活動報告等の連絡をとること。活動中に事故や事件が起きた場合は、速やかに連絡すること。
- 課外活動は自主活動であるため、学生自らの判断で運営することとなる。  
他方、団体で生じた問題の対応や、事件や事故が生じた際の大学への対応も学生(幹部)が行うこととなるため、幹部は自覚と責任を持つこと。
- 大学は、公認団体の活動を信頼し、支援金の助成や部室割当等の便宜を提供するので、それに応える健全な活動を行うこと。
- 大学からの通知や連絡に注意を払い、その内容を必ず部員に周知すること。
- 部則や会則、運営費の収支計画・決算を部員に明示し、情報の透明性を高めること。
- 幹部交代の際は、大学への手続きを必ず引き継ぐこと。特に、課外活動届の提出や課外活動支援金等の申請手続き等の引継ぎが不十分であると、大学の助成を見過ごすことがあるので注意すること。

## 5. 公認団体・届出団体が行う手続き

公認団体及び届出団体は、以下に倣い、手続きを行ってください。なお、届出団体は「支援金等振込口座届」を提出する必要はありません。

### (1) 年度始めの提出書類

公認団体は、2020年5月8日までに、次の書類を学生支援課に提出してください。

提出方法については、2020年4月にCLASS掲示「課外活動」でお知らせします。

未提出の場合は、公認団体から降格となり、支援金の助成や部室の割当等の便宜を受けられなくなるため、注意してください。

<提出書類>

- |               |     |               |     |
|---------------|-----|---------------|-----|
| ①「課外活動届」      | 様式A | ②「部員名簿」       | 様式B |
| ③「年間行事予定表」    | 様式C | ④「2020年度収支予想」 | 様式D |
| ⑤「2019年度決算報告」 | 様式E | ⑥「出納帳」        | 様式F |
| ⑦「部則・会則」      | 様式G | ⑧「誓約書」        | 様式H |
| ⑨「支援金等振込口座届」  | 様式I | ⑩「学外指導者届」     | 様式J |
| ⑪「部室使用許可申請書」  | 様式K |               |     |

## (2) 幹部役員が交代する時

幹部が交代する場合は、更新した「部員名簿」を速やかに学生支援課に提出してください。

また、それに伴い、「支援金等振込口座届」に記載した銀行口座の名義を変更する際は、学生支援課に申し出て、所定用紙により手続きを行ってください。

旧幹部から新幹部への業務引継ぎは、団体の伝統を育む上で重要な営みであるので、漏れの無いよう、注意して行ってください。特に会計の引継ぎが不十分であると、各種支援金の申請を見過ごし、団体に金銭的負担をかけてしまうことがあります。

## (3) 部員の入部・退部があった時

1名でも部員の入部や退部があった場合は、所定のメールアドレスへ部員名簿を提出してください。部員名簿は、部室や倉庫の鍵の受け渡しの際の部員確認にも利用します。

## (4) 顧問が交代する時

顧問が交代する場合は、学生支援課で「クラブ顧問辞任届」及び「クラブ顧問承諾届」を受け取り、それぞれの教職員から署名捺印を受け、提出してください。

## (5) 学外指導者から指導を受ける時

定期的に学外の方から指導を受ける場合は、契約書(様式L)を交わし、学生支援課へ報告してください。また、学外指導者との契約を解除する場合は、部規約に則り各団体が契約解除の交渉を行い、解除後、学生支援課へ報告してください。

## (6) その他

その他相談がある場合は学生支援課まで申出てください。(団体名変更、活動休止、廃部等)

## 6. 試合や合宿等に係る提出書類

大学へ提出する書類は、必ずコピーを取り、各団体に保管してください。

### (1) 「試合・合宿等届」、「試合・合宿等報告書」 様式M

公認団体・届出団体が試合、合宿、発表会、演奏会等を行う際は、事前に「試合・合宿等届」等を作成し、学生支援課へ提出してください。また、終了後は、速やかに「試合・合宿等報告書」を作成し、学生支援課へ提出してください。

提出が遅れると、試合・合宿等が許可されないだけでなく、事故の際の保険制度が適用されなくなりますので、注意してください。

なお、海外遠征や自然災害を伴う恐れのある活動(登山、スキー、ダイビング等)を行う場合は、関係書類提出後に学生支援センターのヒアリングを実施します。その合宿が自然災害を伴う恐れのある活動に該当するかわからない場合は、学生支援課にお問い合わせください。

また、提出書類の様式も通常と異なりますので、注意してください。

・「在京責任者(緊急時連絡者)」欄には、万一の事故の際、大学と連絡が取り合うことのできる、合宿等に同行しない部員やOB等を記載してください。

・「保証人承諾」欄には、保証人の承諾を得た場合に限り“○”を記載してください。保証人の承諾が得られていない部員については、参加が許可されません。

#### ◎大会やコンクール等で入賞した時

大会やコンクール等に出場し、入賞した場合は、入賞したことがわかるもの（賞状・新聞や雑誌記事・Web掲載記事等）を用意して、学生支援課に報告してください。大学の公式HPに掲載することがあります。

#### (2)「試合等参加証明書」 様式N

公認団体の部員が公式試合\*1に出場し、やむを得ず試験や授業（実験・実習は除く）を欠席する際は、学生支援センターが「試合等参加証明書」を発行します。

欠席する日の1週間前の授業までに担当教員へ提出できるよう、余裕をもって学生支援課へ発行を申し出てください。

申し出が欠席日の1週間前を過ぎた場合、発行できません。

\*1：公式試合とは、所属する連盟が開催する大会・リーグ戦・演奏会、大会主催者から招待された発表会・コンクール等とする。

なお、「試合等参加証明書」を発行するためには、予め「試合・合宿等届」を提出し、「参加者名簿」に氏名が記載されていることが条件となります。「試合・合宿等届」は許可を得るのに時間がかかりますので、2週間以上前に余裕を持って提出してください。

※「試合等参加証明書」に係る授業の取り扱いは、授業担当教員の判断となります。

#### (3)「開催願」 様式O

課外活動団体が自ら主催して集会、発表会、講演会等を開催する際は、学生支援センター長宛の『開催願（兼施設使用願）』（参加者名簿添付）を開催日の1ヶ月前までに学生支援課へ提出してください。

なお、他大学の教員や学生、本学OB、企業等の学外者が参加する企画については、開催願を提出しても許可されないことがあります。

事前に開催願を提出しなかった場合、施設・物品使用の便宜や保険制度が適用されません。

また、企画にて物品を借用する際には『物品等借用願』を、チケット等を販売する際には『販売許可願』を提出してください。

## 7. 課外活動における車両の取り扱い

#### (1) 課外活動における自家用車での通学や来学

本学は課外活動を理由とした車両での通学を認めていません。卒業生学外者も同様です。

#### (2) 課外活動に伴う車両の入構

本学に、課外活動（合宿含む）のため、やむを得ずバスやトラック等の車両を入構させる際は、必ず事前に学生支援課まで以下の手続きを行ってください。なお、本学で試合を行うため、相手大学等がバスでの入構を希望する場合等も同様の手続きが必要です。

<窓口>

○神楽坂地区 : 学生支援課窓口へ相談

○野田地区・葛飾地区: 車両臨時入講証交付申請書(学生支援課窓口にて配付)様式P

※未許可の車両で事故等が発生した場合、後述の保険制度が適用されない場合があります。

※課外活動における学外者(OB、指導員含む)の入構に際しては、必ず事前に学生支援課窓口まで問い合わせください。事前に申し出が無い場合、学外者の入構は許可されません。

## 8. 催し物・行事等の注意事項

クラブが以下に該当する催し物の開催等をする場合は、学生支援センター長宛の申請書を学生支援課に提出して、許可を得る必要があります。

### (1) 学内で集会や講演、催し物等を開催する場合

マイクの使用は、授業・研究・業務等の妨げにならないよう十分に注意してください。

### (2) 学内でビラ・ポスター・パンフレット類を掲示・配付する場合

必ず学生支援センターの認印を受け、所定の場所で行ってください。

ただし、体育局や体育会、神楽坂地区の学友会、野田学生会、葛飾友理会の指定掲示板に掲示する場合は、各本部団体に申し出て、許可を受けてください。

期間は原則1週間以内です。期間終了後は直ちに取り外し、学内美化を心がけてください。

掲示の大きさはA3が限度で、枚数は原則として4枚以内とし、メンディングテープ、画鋲、マグネットを使用してください。掲示内容は学生の本分に適うものに限りします。

<掲示場所>

○ 神楽坂地区: 9号館2階掲示板

○ 野田地区 : 講義棟入口課外活動掲示板、講義棟2~7F学生掲示板

○ 葛飾地区 : 講義棟1、3~6F学生掲示板

※大学行事(新勧ガイダンス、理大祭等)の際は、上記以外の掲示を認めることがあります。

※掲示板の状況により、掲示できない場合もあります。

### (3) 学内での印刷物の発行、配付、調査、署名運動、投票等を行う場合

終了後は必ず文書で結果(署名・投票結果等)を報告してください。

### (4) 学内外での金銭に伴う行為(印刷物、チケット販売、有料の催し物、募金等)

有料の催し物は「販売許可願(企画書)」、「収支見積書」を添えて申請してください。

募金は趣意書、目標額を記した文書を添えて申請してください。なお、終了後は、必ず文書で結果(総売上額、募金総額等)を報告してください。



## 9. 課外活動への助成

大学では、課外活動に対する教育的効果を期待し、有意義な活動を奨励するため、各種支援金の制度を設けています。支援金の支給基準や申請方法等の詳細は、CLASS 掲示を確認し、配付する取扱要項を参照してください。

なお、申請期限を過ぎたもの、不備があるもの、個人名義のもの、クレジットカードを利用したものは受付できません。また、原則として立替払いとなりますので、申請の際は領収書の提出が必要となります。ご注意ください。

各種支援金は、限られた予算の中で各課外活動団体が本当に必要とする活動経費に対して支援をするものです。学生支援センターでは、公平な配分に努め、少しでも学生の皆さんの負担を軽減したいと考えていますが、要望通りの支援が受けられるとは限りません。

ついては、本制度の趣旨を十分に理解して、計画通りの予算執行に努めてください。

※以下は 2019 年度のもので、内容に変更が生じる場合があります。

### (1) 課外活動支援金

- ・申請資格：公認団体
- ・申請対象：施設使用料、試合・大会・発表会等参加費、加盟連盟の登録費、備品購入費  
※本学学生間の経費、研修センター等の学内施設使用料、飲食費は対象外。
- ・申請方法：CLASS から申請書類一式を出力し、領収書を貼付して学生支援課へ提出する。
- ・申請期間：原則、月末締め翌月 15 日まで  
ただし、2 月分 3 月分は事前に支払いや納品を済ませ 2021 年 3 月 5 日まで
- ・支給日：申請月の翌月末（申請月が 7 月の場合は翌々月末）

### (2) 学生支援センター特別支援金

- ・申請資格：公認団体
- ・申請対象：各課外活動団体が主たる活動に係る経費で、特別に支援を希望するもの  
※本学学生間の経費、研修センター等の学内施設使用料、飲食費は対象外。
- ・申請方法：①支給希望額申請書とともに、根拠となる書類を学生支援課へ提出する。  
②審査結果（支給額）の通知を受けて、申請書類一式を用意し、領収書を貼付して学生支援課へ提出する。
- ・申請期間：原則、月末締め翌月 15 日まで  
ただし、2 月分 3 月分は事前に支払いや納品を済ませ 2021 年 3 月 5 日まで
- ・支給日：申請月の翌月末（申請月が 7 月の場合は翌々月末）

### (3) 上記以外の支援制度

その他、学生支援センターやこうよう会（本学父母会）等から、課外活動団体に対して、別途支援金制度を設ける場合があります。その場合は、CLASS でお知らせします。



#### (4) その他

##### ①学生行事等援助金

- ・学生団体を統括する本部団体が、外部施設を利用して、リーダーズキャンプやフレッシュマンキャンプ等を行う場合、参加する学生に対し、2,000円/1人1泊を補助する。

##### ②課外活動貸付金

- ・申請資格：大学公認後5年以上の活動実績がある公認団体
- ・申請期間：特になし。

部内で話し合い、必要との結論に至った場合は、学生支援課に申し出ること。

- ・概要：長期利用する大型備品を購入する場合、または突発的な事故により特別な支出が必要な場合には、無利息無担保の課外活動貸付金を申請することができる。貸付金の限度額は1団体200万円までとし、返済期間は100万円までの貸付は4年、200万円までの貸付は8年とする。

## 10. 会計監査

学生支援センターでは会計監査を実施しています。適正な予算管理は、団体の健全な運営にあたり重要な指標となります。

大学からの支援金をはじめ、団体を運営するための予算（部費等）は個人のものではなく大切な公金です。そのため、予算を取り扱うにあたり会計担当者を選出し、正しく管理を行う必要があります。また、予算管理が適正に行われていることを第三者に説明、開示すること、つまり会計監査を受けることは、一層適正な予算管理に繋がります。

各団体は、会計担当者を決め、会計処理が適正に行われるよう部則等を整備した上、「会計(決算)報告書」(様式E)及び「出納帳」(様式F)を作成し、以下のとおり半期毎に学生支援課へ提出してください。それを受けて、毎年11月から12月の間に、学生支援センターが指定した団体の会計監査を行います。

<提出日>

- ・前期会計報告(4月1日～9月30日分) 10月末日まで提出
- ・年度会計報告(4月1日～翌年3月31日分) 翌年5月、課外活動届と併せて提出

<提出物>

- ①会計(決算)報告書
- ②出納帳
- ③領収書を貼ったノート等の写し

## 11. 施設使用

### <部室>

#### (1) 申請手続

部室を使用したい場合、年度初めに CLASS にて学生支援センター長宛の『部室使用許可申請書(所定様式)』を配布しますので、所定の期日までに学生支援課へ申請してください。

許可された場合、許可書を発行しますので、窓口で受け取ってください。

部室使用は年度更新になっていますので、毎年度申請を忘れないよう注意してください。

#### (2) 部室使用の遵守事項

以下の事項を遵守しなかった場合は、学生支援センターの指示に従う。

- ① 学生支援センター関係の諸規程を遵守し、公序良俗に反しないよう、団体としての責務を果たす。
- ② 課外活動の目的以外には使用しない。
- ③ 使用の際は、整理、整頓を心がけ、清潔に使用し、現状復帰できなくなる塗装や加工を行わない。
- ④ 他に迷惑をかけないように、騒音などには十分注意する。
- ⑤ 学外者は立ち入らせない。
- ⑥ 盗難防止に留意し、特に貴重品の保管には万全をつとめる。
- ⑦ 火気厳禁を厳守し、危険物(薬品等)の管理は法令を遵守して行う。
- ⑧ 禁煙、禁酒を厳守する。
- ⑨ 鍵は借用した当日中、所定の時間までに施錠のうえ返却する。万が一鍵を紛失した場合、紛失したと思われる場合は、速やかに各キャンパス学生支援課に報告する。
- ⑩ 鍵の複製は禁止する。

※鍵の受け渡し場所：神楽坂キャンパス 2号館警備員室、5号館警備員室

野田キャンパス 15号館2F警備員室

葛飾キャンパス 講義棟1F中央監視室

※部室のある号館を入学試験等の学内行事で使用する場合は、指定された時間まで部室の使用を認めない。入学試験とは、センター・B方式・C方式入試だけでなく、11月の推薦入試なども含む。

### <貸出備品>

課外活動等で備品の借用を希望するクラブは、学生支援課に申請してください。貸出備品の種類は地区によって異なりますので、詳細は窓口にお問い合わせください。

#### 【貸出備品例】

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| ★ グローブ、ボール等のスポーツ用品 | ★ ビデオプロジェクター |
| ★ デジタルビデオ          | ★ デジタルカメラ    |
| ★ ドラムリール           | ★ 拡声器 他      |

<教室の使用>

●神楽坂キャンパス

校舎		神楽坂キャンパス（神楽坂校舎・富士見校舎）	
窓口		学生支援課（9号館2F）	
使用時間	平日	（神楽坂校舎） 16：10～22：30 ※防音室 8：50～22：30	（富士見校舎） 16：10～19：30
	土曜日	（神楽坂校舎） 8：50～22：30	（富士見校舎） 8：50～19：30
	日曜・祝日	（神楽坂校舎） 8：50～20：30	（富士見校舎） 貸出なし
申込方法	受付時間	平日 8：30～17：00（12：45～13：45 除く）、17：30～19：30	
	手続等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎日、その日を1日目と数えて8日先までの教室台帳を公開、先着順で受付。 （※長期休暇期間を除く）</li> <li>●窓口の教室台帳にて調整後、窓口のPCから入力・申請をする。</li> <li>●学生支援課での受付後、各校舎の警備員室にて確認を受ける。</li> </ul>	
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>●原則として、1団体平日1日につき、教室・防音室合わせて事前予約で3コマ、当日予約で合わせてさらに3コマ、計6コマまで貸出可能。（1コマは教室台帳上の1マス） 土日祝日は、1団体につき1教室のみ終日貸出可能。</li> <li>●3号館地下1階防音室のみ音出し可。</li> <li>●教室備え付け機器（プロジェクター等）の使用は、一切認めません。</li> </ul>	

●野田キャンパス

校舎		野田キャンパス	
窓口		学生支援課（1号館2F）	
使用時間	平日	16：30～20：50（音出し時間 18：10～20：50）	
	土曜日	9：00～18：00（音出し時間 9：00～18：00）	
	日曜・祝	9：00～18：00（音出し時間 9：00～18：00）	
申込方法	受付時間	平日 8：30～17：00（12：45～13：45 は除く）	
	手続等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●窓口の教室台帳にて調整後、窓口のPCから入力・申請をする。</li> <li>●毎日、1週間後までの教室を先着順で受付。</li> <li>●当日の受付は行いません。</li> </ul>	
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>●教室備え付け機器（プロジェクター等）の使用は、一切認めません。</li> <li>●講義棟での楽器を使用は、北側教室のみ。</li> <li>●1団体につき、1日5教室までの使用とする。</li> </ul>	

## ●葛飾キャンパス

校舎	葛飾キャンパス	
窓口	学生支援課（管理棟3F）	
使用時間	平日	16:10～22:30（防音室 8:50～22:30）
	土曜日	8:50～22:30（防音室 8:50～22:30）
	日曜・祝	8:50～20:30（防音室 8:50～20:30）
申込方法	受付時間	平日 8:30～17:00（12:45～13:45は除く）
	手続等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎日、その日を1日目と数えて8日先までの教室台帳を公開、先着順で受付。 ※長期休暇期間を除く。</li> <li>●窓口の教室台帳にて調整後、窓口のPCから入力・申請をする。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原則として、1団体につき、1日3教室までの使用とする。</li> <li>●日曜日、長期休みに限り、3～4階教室において音出しでの教室使用を認めます。（授業実施日・卒論発表や学会等大学のイベント開催日をのぞく）</li> <li>●月曜日～土曜日は楽器の演奏、歌唱等の音出しは禁止とします。音出しを行う団体は、体育館棟5～6階防音室を使用してください。</li> </ul>	

## ●キャンパス共通

- ・学外者が参加する催し等で教室を使用する場合は、別途、事前に「開催願」を届け出てください。
- ・上表に記載されている内容と異なる条件で教室使用を検討している場合は、1か月前を目途に学生支援課へご相談ください。

### 《教室使用の注意事項》

- ① 使用時間は、原則として授業終了後とします。
- ② 騒音等により、授業、研究、業務に支障をきたす行為は行わないでください。
- ③ 施設、備品を破損しないこと。また、改装、移動をしないでください。
- ④ 許可なく火気および電源の使用をしないでください。
- ⑤ 学内風紀、秩序を乱す行為は行わないでください。禁酒、禁煙は厳守してください。
- ⑥ 諸事情により、教室使用時間帯が変更となる場合があります。

## <体育施設の使用>

### ●神楽坂キャンパス

施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5号館地下3階体育館（アリーナ、トレーニング室、シャワー室、更衣室）</li> <li>● 3号館屋上運動場、 ● 10号館地下1階柔道場</li> </ul>
申込方法	神楽坂キャンパスの体育施設を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育局の予約については、毎月10日までに翌月分を本部で受け付け、調整。</li> <li>● 体育会の予約については、毎月14日までに翌月分を本部で受け付け、調整。</li> <li>● その他の予約については、毎月25日以降に翌月分を体育事務室で受け付け、調整。</li> </ul>
	野田・葛飾キャンパスの体育施設を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 葛飾体育施設：大会や試合は毎月10日まで、練習は毎月15日までに翌月分を受け付けます。</li> <li>● 野田体育施設：大会や試合は前月10日まで、それ以外は野田の団体と同様に扱います。</li> </ul>

### ●野田キャンパス

施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育館（アリーナ、弓道場、柔道場、剣道場、シャワー室、更衣室）、 ● 野球場、 ● 洋弓場、</li> <li>● ソフトボール場（3面）、 ● テニスコート（オムニ10面）、 ● サッカー場、</li> <li>● ラグビー場、 ● 多目的トレーニングルーム、 ● トレーニングルーム</li> </ul>
申込方法	野田キャンパスの体育施設を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育局の優先予約は、使用する前月の15日から24日の間に野田支部渉外係が行います。</li> <li>● 一般予約は、前月25日以降に学生支援課窓口で当該1ヶ月分（テニスコートは毎日8日後まで）受け付けます。</li> <li>● トレーニングルームを使用する際は、体育館内にある体育研究室の許可を得てください。</li> </ul>
	神楽坂・葛飾キャンパスの体育施設を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 神楽坂体育施設：調整の都合上、使用の10日前までに申込を行ってください。</li> <li>● 葛飾体育施設：大会や試合は毎月10日まで、練習は毎月15日までに翌月分を受け付けます。</li> </ul>

### ●葛飾キャンパス

施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育館（大アリーナ、小アリーナ、トレーニング室、シャワー室、更衣室）</li> <li>● 多目的運動広場【葛飾区所有】、 ● テニスコート【葛飾区所有】</li> </ul>
申込方法	葛飾キャンパスの体育施設を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育局の予約については、毎月11日までに翌月分を本部で受け付け、調整します。</li> <li>● 体育会の予約については、毎月5日までに翌月分を本部で受け付け、調整します。</li> <li>● その他の予約については、毎月15日以降に翌月分を体育事務室で受け付け、調整します。</li> </ul>
	神楽坂・野田キャンパスの体育施設を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 神楽坂体育施設：調整の都合上、使用の10日前までに申込を行ってください。</li> <li>● 野田体育施設：大会や試合は前月10日まで、それ以外は野田の団体と同様に扱います。</li> </ul>

## ●キャンパス共通

- ・申込が重なる場合は、次の優先順位で使用を許可します。優先同位の場合は、双方話し合いのうえ、調整してください。  
⇒ ①授業 > ②大学行事・大会等 > ③体育局・体育会・教職員の使用 > その他使用
- ・試合や大会等により他大学・学外者が参加する場合は、別途「開催願」を届け出てください。
- ・使用予定を変更する場合は、速やかに学生支援課もしくは体育事務室（神楽坂・葛飾）へ申し出てください。

## ●体育施設を使用する際の注意事項

- ①時間を厳守すること。秩序ある行動をとり、事故等を起こさないように注意すること。
- ②事故等が発生した場合や、施設や備品を破損・紛失した場合は、直ちに学生支援課へ報告し、指示に従うこと。
- ③所定の場所以外では喫煙しないこと。また、無許可で火気を使用しないこと。
- ④体育館では運動靴を使用（土足厳禁）すること。
- ⑤施設内の器具備品を許可なく移動しないこと。また、許可なく持ち込まないこと。
- ⑥シャワー室、更衣室等は清潔に使用すること。放置してある物品等は、適宜、撤去する。
- ⑦体育館等の照明を許可なく点灯しないこと。窓等を開いたときは、使用后、閉じること。
- ⑧使用した場所は清掃を行うこと。ごみは分別し、用具類は整理整頓すること。
- ⑨早朝や夜間、日曜日や祝日の使用は、近隣住民の迷惑とにならないよう注意すること。
- ⑩盗難防止に留意し、貴重品の管理を徹底すること。神楽坂・葛飾体育館には施錠可能なロッカーが併設されているので、適宜活用すること。
- ⑪試合や大会等で他大学生が参加する際、自動車や二輪車で来校しないよう注意すること。
- ⑫野田体育館にてボールやネット等の備品を使用する場合は、必ず事前に体育研究室の教員（森戸記念体育館の管理室内）に許可をとること。
- ⑬葛飾体育館の女子更衣室は防犯上、入口に設置されているICカードリーダーに学生証をタッチすることで、入室することができる。試合・大会等で他大学生が利用する場合は、必ず事前に学生支援課の許可をとること。

## ●トレーニング室を使用する際のマナー

- ・トレーニング用の服装にする。 （裸やサンダルでのマシン使用は危険）
- ・室内用シューズを履く。 （外履きシューズは禁止）
- ・マイタオルを持参する。 （器具やマシンについた汗を拭く）
- ・器具やマシンを長時間占有しない。 （長過ぎるセット間休憩に注意する）
- ・器具やウェイトを元の位置に戻す。 （次の利用者に迷惑をかけない）
- ・トレーニング中に大声を発しない。 （他の利用者に迷惑をかけない）
- ・他人のスペースも気にかける。 （他人のトレーニングを邪魔しない）
- ・携帯電話の利用に注意を払う。 （携帯いじりに集中しすぎない）
- ・大きい音量で音楽をかけない。 （他人の集中を妨げない）

## <研修施設使用>

対象施設	学生研修センター（学内施設 野田キャンパス内）
申込窓口	各地区の学生支援課
予約期日	利用月の2ヶ月前から利用日の2日前まで受け付けます。 ※ 長期休暇中の利用については、事前に問い合わせをしてください。
申込方法	①予め『試合・合宿等届』『開催願』を学生支援課へ提出する。 ②学生支援課にて申込書に必要事項を記入し、提出（宿泊者名簿添付）する。 ③窓口で使用料金を納入し領収印をもらう。（神楽坂：財務課、野田・葛飾：統括課） ④窓口にて許可書を受け取る（利用時には携帯してください）。

## <株R.projectの施設>

公認団体は、大学からの助成を受けて、R.projectの保有施設を利用することができます。関東近郊に11施設を用意していますが、他大学も使用できる施設となりますので、使用を希望する場合は、早めに理科大生専用サイト（<http://rprojectjapan.com/university/tus/>）へ問い合わせの上、予約してください。

QRコード →



○参考（「サンセットブリーズ保田」を使用する場合）

時期	基本料金	本学からの助成額	公認団体の負担額
オフシーズン（月～金等）	(3,300円)	(3,000円)	<u>300円</u>
通常（春休み等）	(4,000円)	(3,000円)	<u>1,000円</u>
ピーク（週末・夏休み等）	(4,980円)	(3,000円)	<u>1,980円</u>
ハイシーズン（年末年始）	(6,150円)	(3,000円)	<u>3,150円</u>

※料金は全て税込で、ほとんどの施設は上記の料金体系です。

詳しくは、各施設のWEBサイトを確認してください。

※基本料金：1人1泊素泊まり(食事なし)の料金

### ●注意事項

- ・宿泊の助成は、現地で宿泊代を支払う際に割引します。  
ただし、予約確定後に大学へ所定の様式「試合・合宿等届(R.project利用専用)」を提出していない場合は、助成を受けることが出来ません。
- ・公認団体以外(サークルやゼミ等)での利用も可能ですが、本学の助成は対象外となります。
- ・顧問教員など、本学学生以外の者は助成対象外となります。
- ・各施設の助成金額の詳細については、各地区学生支援課までお問い合わせください。

●関東近郊 11 施設 (全ての施設で BBQ 可能)

①サンセットブリーズ保田 (千葉県)

〒299-1909 千葉県安房郡鋸南町大六1032 URL▶ [sunset-breeze.com](http://sunset-breeze.com) 東京からの距離 ▶ 約 90分

★施設 併設：人工芝フットサルコート3面、スカッシュコート3面、キャンプファイアー可

近隣：人工芝サッカー・アメフト・ラグビー場、体育館、温泉プール、  
野球場、武道場、弓道場、多目的ホール

★推奨分野 アメフト、サッカー、水泳、ラグビー、野球、武道系、弓道、吹奏楽

★特記事項 新宿駅と東京駅から高速バスあり(2300円程度)。部屋の窓の真下に

海と砂浜が広がる。名の通り夕焼けがインスタ映えする施設。

無料送迎大型・マイクロバスあり・徒歩3分大型スーパーあり・徒歩5分温泉・地魚あり。



②サンセットビーチハウス (千葉県：サンセットブリーズ保田から車7分 ※20名以上は3階建て施設を1棟貸切可能)

〒299-1901 千葉県鋸南町元名942 URL▶ <http://sunset-breeze.com/guide/beachhouse/>

★施設 併設：研修室

近隣：人工芝サッカー・アメフト・ラグビー場、体育館、温泉プール、野球場、武道場、弓道場

★推奨分野 アメフト、サッカー、水泳、ラグビー、野球、武道系、弓道、吹奏楽

★特記事項 新宿駅から高速バスあり(2300円程度)。部屋の窓の真下に海が広がる。砂浜がある。

無料送迎大型・マイクロバスあり。コンビニ徒歩2分。

③アルビンスポーツパーク (千葉県)

〒297-0234 千葉県長生郡長柄町長柄山522 URL▶ [aerbinsportspark.com](http://aerbinsportspark.com) 東京からの距離 ▶ 約 90分

★施設 併設：天然芝サッカー場2面、人工芝フットサルコート6面、  
練習用サッカー場、体育館 (バスケ2面又はフットサル2面)  
セミナー室、ダンスルーム (2か所)



★推奨分野 サッカー、バレーボール、バスケ、ハンドボール、バドミントン、卓球、武道系、吹奏楽

★特記事項 体育館が敷地内にある大型施設。緑に囲まれた静かな環境でトレーニングに集中できる。

④ kit みずさわ (千葉県)

〒299-4423 千葉県長生郡睦沢町大上3220 URL▶ [kit-mizusawa.com](http://kit-mizusawa.com) 東京からの距離 ▶ 約 85 分

★施設 併設：小学校の雰囲気を残した多目的室、体育館、校庭

近隣：パーク睦沢 (無料送迎バス5分)

バスケ2面・軟式野球場・天然芝サッカー場・テニス (オムニ4面)  
柔道・剣道・水泳 (夏季シーズンのみ)・フットサル

★推奨分野 ダンス系、音楽系、サッカー、バスケットボール、柔道、剣道、水泳、野球、ソフトボール

★特記事項 小学校の教室をいかした客室や、多くの懐かしい雰囲気を持つ

多目的室、体育館、広場、理科室や、放送室も利用が可能。無料送迎マイクロバスあり。





### ⑤白浜フローラルホール (千葉県 南房総)

〒295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口6767番地1 URL▶ shirahamafh.com 東京からの距離 ▶ 約120分

★施設 併設：大ホール、スタジオ（壁面鏡貼り）、多目的ルーム（鏡あり）

★推奨分野 ダンス系、演舞系、吹奏楽、演劇系、ダブルダッチ、音楽系、Eスポ

★特記事項 大ホール：24時間演奏可能！大画面で映画鑑賞・TVゲームも可能！

海を一望できる。管理人がブレイクダンスのプロ（昨年紅白歌合戦バックダンサー）で、ダンス系サークルが希望すれば指導してくれる。コンビニ車3分



### ⑥昭和の森 フォレストビレッジ (千葉県千葉市)

〒267-0062 千葉県千葉市緑区小食土町955 URL▶ forestvillage.jp 東京からの距離 ▶ 約 75 分

★施設 併設：人工芝フットサルコート3面、多目的ルーム2つ

近隣：野球場兼サッカー場、テニス（ハード6面・オムニ2面）徒歩15分

★推奨分野 ダンス系、演舞系、演劇系、吹奏楽、文化系、軟式野球

★特記事項 キャンプ場も併設。コンビニ徒歩10分



### ⑦ナミカゼ館山 (時期によっては30名以上で貸切可能)

〒294-0045 千葉県館山市北条 2861 URL▶ namikazetateyama.com 東京からの距離 ▶ 約 90 分

★施設 併設：目の前に海水浴場、セミナールーム、駐車場

近隣：サッカー場・体育館、武道場、野球場、弓道場

★推奨分野 研究系、ツーリング系、演劇系、文化系

サッカー、剣道、柔道、バスケットボール、バレーボール  
軟式野球、ソフトボール、弓道

★特記事項 館山駅から徒歩3分と好アクセス。東京駅から高速バスも可能

アクセスの良いリゾート型合宿所。コンビニ徒歩3分（無料送迎バス応相談）。

周辺には、おしゃれなカフェとヨガやボルダリングが楽しめる「SEA DAYS」がある。



### ⑧本栖湖スポーツセンター (山梨県)

〒401-0337 山梨県南都留郡富士河口湖町本栖 210 URL▶ motosukosc.com 東京からの距離 ▶ 約 120 分

★施設 併設：人工芝サッカー1面・アメフト・ラグビー場、多目的広場、

天然芝サッカー1.5面・アメフト・ラグビー場、

400mトラック、体育館、スタジオ

★推奨分野 アメフト、サッカー、ラグビー、ラクロス、バレーボール、

バスケ、ハンドボール、バドミントン、陸上競技、ダンス系、演舞系、吹奏楽、演劇系

★特記事項 本栖湖のすぐそば、深い森に囲まれた、グラウンド、全天候型陸上トラック

人工芝グラウンドは、ACミランの練習場と同様の芝で本格派合宿施設。

キャンプ場が併設、グランピング、アウトドアアクティビティ（SUP・カヤック・カヌー）も可。



### ⑨清風荘 山中湖 (山梨県山中湖)

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 339 URL▶ seifuuso.com 東京からの距離▶ 約 120 分

★施設 併設：テニスコート 17 面、多目的ホール 4 室 (30 畳×3 室等)

近隣：体育館 2 つ (徒歩 5 分)、

「交流プラザきらら (車 5 分)」

グラウンド (人工芝 1 面・クレイ 1 面・多目的グラウンド 1 面)、

野外コンサートホール、テニスコート (オムニ 3 面)

★推奨分野 硬式テニス、軟式テニス、バレーボール、バスケ、ハンドボール、バドミントン、吹奏楽、音楽系、演劇系、ダンス系

★特記事項 新宿駅から高速バス (2200 円程度) 停留所のすぐ近く。コンビニ徒歩 3 分。

テニスコートだけでなく、2 つの体育館を同時に利用することが可能。



### ⑩レイクロッジヤマナカ (山梨県山中湖)

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 479 URL▶ lakelodgeyamanaka.com 東京からの距離▶ 約 120 分

★施設 併設：サッカー・アメフト・ラグビー場、BBQ、セミナー室

近隣：「交流プラザきらら (隣接)」

グラウンド (人工芝 1 面・クレイ 1 面・多目的グラウンド 1 面)、

野外コンサートホール、テニスコート (オムニ 3 面)、

野球場・ソフトボール場

★推奨分野 アメフト、サッカー、ラグビー、ラクロス、研究系、文化系、テニス、軟式野球、ソフトボール

★特記事項 キャンプ場もあります。山中湖の向こうに見える富士山は圧巻。



### ⑪上郷森の家 (神奈川県横浜市)

〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町 1499-1 URL▶ kamigo-morinoie.com 東京からの距離▶ 約 60 分

★施設 併設：ホール、多目的ホール、スタジオ、ミニ体育館

★推奨分野 ダンス系、演舞系、演劇系、音楽系、卓球、文科系

★特記事項 最寄り駅：金沢八景駅か大船駅 (品川駅から電車 37 分)

客室が全面改装され、客室はホテルなみのきれいさ。

横浜自然観察の森や金沢市民の森に隣接した自然豊かな施設。

屋内焚火場「火の間」、キャンプ場等の館内施設も充実している。無料送迎マイクロバスあり。



## 12. 課外活動用ホームページ作成

### (1) 作成にあたっての注意事項

- ・ 課外活動用HPは、個人のHP上に作成しないでください。
- ・ HPの内容は本学の学生としてふさわしい内容であるとともに、社会の規則やモラルに反すること、不適切な情報発信がないよう、クラブ責任者は注意を徹底してください。

### (2) HP新規作成、使用継続の手順

課外活動用HPを作成、継続使用する場合は、以下の手続きを行ってください。なお、HP公開に際し、登録料金などはかかりません。継続使用の申請は毎年度必要です。

#### ①クラブ用ユーザ名の取得

- a) クラブ用ユーザ名を取得するためには、顧問の教員がいることが条件となります。
- b) 所定の用紙（『クラブ用ユーザ名申請書』）を、年度初めにCLASS「課外活動等」から取得してください。
- c) 必要事項を記入し、学生支援課窓口で承認を受け、各地区情報システム課窓口へ提出してください。
- d) 各地区情報システム課にてこれを受理し、3日後にユーザ名の発行となります。
- e) クラブ用ユーザ名で使用できるディスク容量は、最大で100MBです。

#### ②大学HPとクラブ用HPとのリンク（新規リンク団体のみ）

- a) CLASS「課外活動等」から、所定用紙（東京理科大学WWWサーバ「クラブ活動」リンク登録申請書）を受け取ります。
- b) 必要事項を記入後、学生支援課に提出し、学生支援センター長の承認を受けます。ただし、この時①により取得したユーザ名にてHPのファイルが作成済みである必要があります。
- c) 学生支援センター長の承認が受けられた場合、東京理科大学HPにリンクされます。  
※既にリンクされており、①の手続きを行ったクラブは、継続してリンクされます。再度、リンク申請は必要ありません。

#### ③リンクを解除したい、リンク先を変更したい場合

CLASS「課外活動等」から、所定の用紙（『東京理科大学WWWサーバ「クラブ活動」リンク登録申請書』）を受け取り、その旨、申請してください。



## 13. 保険制度

課外活動団体の活動には、万全な安全対策にもかかわらず、事故によって身体に傷害を被ることがあります。一旦事故が発生すると、その影響は思いもよらない範囲まで拡がります。

本学では、在学生全員が『学生傷害共済補償制度（学傷補）』、また学校法人として『学校施設管理者賠償責任制度（施設賠償）』に加入していますので、課外活動中に怪我した場合は、学生支援課へ申し出てください。

なお、学生支援センターでは、各団体に対し、活動内容に応じた任意保険の加入を推奨しています。各団体の幹部役員は、『学生傷害共済補償制度（学傷補）』の制度をしっかりと理解し、必要に応じて任意保険に加入して補うようにしてください。任意保険に加入することによって、万一の事故の際、より適切な対応が可能になります。

### ●学生傷害共済補償制度（学傷補）

本学学生が正課教育および課外活動中に身体に傷害を被った場合に補償する保険です。

<課外活動中の事故の場合>

- ・対象学生：公認団体及び届出団体に所属する部員
- ・補償範囲：大学に届け出た活動中の事故（合宿や試合等で学外施設を使用した場合も含む）
- ・補償金額：①死亡見舞金 1,240 万円、②後遺障害見舞金 45 万円～3,000 万円、  
③入院見舞金 1 日あたり 4,000 円、④通院見舞金 1 日あたり 1,000 円、  
⑤医療見舞金（治療日数 14 日以上）3 万円～30 万円 ※③④と別途支払い
- ・請求方法：1. 事故発生後 20 日以内に学生支援課へ報告し、保険金請求書と事故通知ハガキを受け取る。  
2. 事故通知ハガキを記入の上、ポストに投函する。  
3. 治療  
4. 完治後、保険金請求書を作成し、学生支援課へ提出する。  
5. 保険金請求書に記載した口座へ保険金が支払われる。

### ●学校施設管理者賠償責任保険（施設賠償）

学校法人として加入しているもので、保険の対象者は、在学生、教職員、指導者名簿に記載の指導者となります。本保険は、正課および課外活動中に生じた事故について、本学に法律上の賠償責任が発生した場合のみ、本学が負担する賠償損害を支払うものです。

対人賠償として 1 名 1 億円まで、対物賠償として一事故につき 1 億円までを限度に補償されますが、被保険者間の交叉責任（同一の競技をしていた学生間の賠償事故等）については、補償の対象となりません。

万が一、該当し得る事故等に遭った場合は、速やかに学生支援課へ申し出てください。

## 14. 事故対策

### (1) 課外活動中の事故とその対策

本学では、過去に課外活動中の事故が発生しています。

クラブの指導者、責任者は常に安全を確保する活動内容に努めるとともに、事故が発生した場合の対策をあらかじめ策定しておく必要があります。課外活動は十分な安全基盤に則った上での活動が基本であり、事故対策の不備はリーダーの責任が問われる場合もあります。そのため、日頃から全部員で危機管理意識を共有してください。

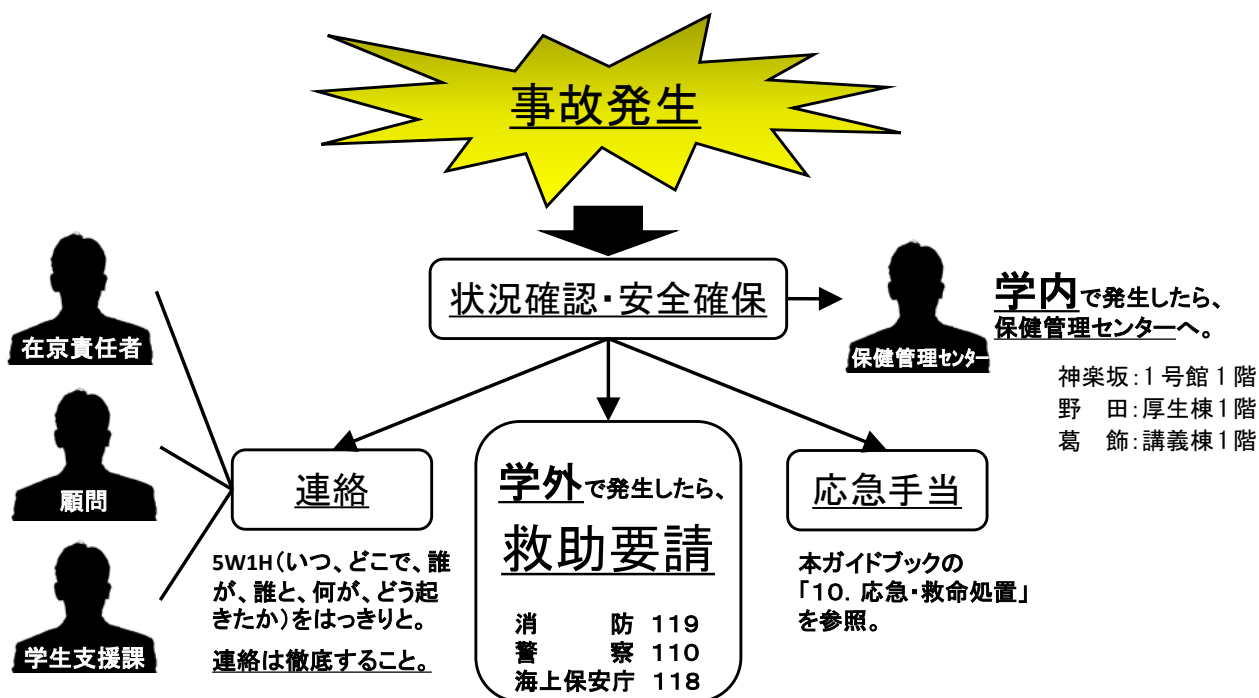
「ハインリッヒの法則」によると、重症以上の事故が1件発生した場合、それまでに29件の軽傷の事故があり、300件の「ヒヤリとした・ハッとした」怪我をしそうになった事故が起きていたといわれています。事故は「ヒヤリとした・ハッとした」の段階で止めることが大切です。課外活動中の軽傷を甘く見ず、黄色信号だと捉えて原因を話し合い、改善するよう努めてください。

#### ●本学における課外活動中死亡事故

年 月	クラブ	場 所	原 因
S 59 年 3 月	公認団体（武道系）	野田第 2 体育館	練習中腹部に前蹴りを受け、心不全により死亡
S 59 年 7 月	公認団体（文化系）	三宅島	自由時間に遊泳し水死
S 59 年 7 月	未届団体（文化系）	八丈島	自由時間に遊泳し水死
H 7 年 3 月	公認団体（運動系）	鹿沢スキー場	滑降中コースを外れ、立ち木に激突し死亡
H21 年 3 月	公認団体（運動系）	八ヶ岳連峰	滑降し死亡
H22 年 8 月	公認団体（運動系）	北海道日高山系	増水した川の濁流にテントごと流され、3名死亡

(2) 万が一、事故が発生したら

課外活動中に事故が発生した場合、その被害を最小限に押さえるため必要な行動です。



① 状況の確認、安全の確保

状況を把握し、二次災害が起こらないよう、各自自身の安全を確保する。現場の責任者は、参加者全員の安否を確認する。

② 応急手当

怪我人がある場合、その場で応急処置を取る。※「10. 応急・救命処置」参照。  
状況に応じて地元の消防（119）・警察（110）・海上保安庁（118）等に連絡し、速やかに救助を依頼する。最寄りの病院等の連絡先は事前に調べておいた方が良い。

③ 連絡

事故現場の責任者は緊急時の連絡者（在京責任者・クラブ顧問・学生支援課・家族・OB会等）へ以下のことを連絡する。

- a) 事故が発生した日時・場所・内容
- b) 事故者の氏名
- c) 行った応急処置
- d) 現場との連絡方法（場所・電話番号・連絡担当者）

④ 行動記録

できる限り対処行動のメモをとる。（時刻付きのメモが望ましい）

⑤ 事件後の対応

責任者は事件後の対応・活動について関係者と相談する。現地協力者への礼と感謝を失しないこと。

## 15. 応急・救命処置

### (1) 救命処置の重要性ードリンカーの救命曲線

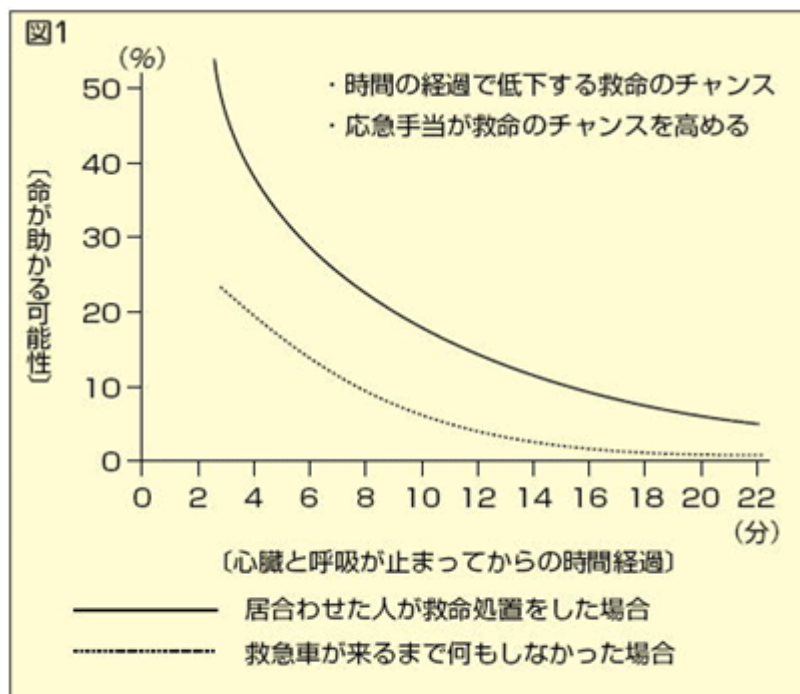
下図は、1966年アメリカのドリンカー博士がWHOに報告した「救命曲線」です。図は呼吸停止（呼吸停止数分後には心臓も停止）のあとに、人工呼吸（又は心肺蘇生）を早くすればするほど蘇生率が高く、遅ければ遅いほど死亡する割合が高くなることを示しています。

これを見ると、呼吸停止2分後に人工呼吸を始めると90%くらいの確率で生命が救えますが、3分後は75%、4分後は50%、そして5分後は25%になり、10分後にはもうほとんどゼロになってしまいます。時間がたてばたつほど生命を救うことができないことがわかります。

では、救急車は何分ぐらいで来てくれるのでしょうか。救急車は119番通報を受けてから事故の現場に到着するまでには平均5～6分はかかるといわれています。しかし、脳が酸素なしで生きていられる時間は、わずか3～4分といわれており、たとえ医師に引き継いでも意識（脳）を回復させることは非常に困難です。

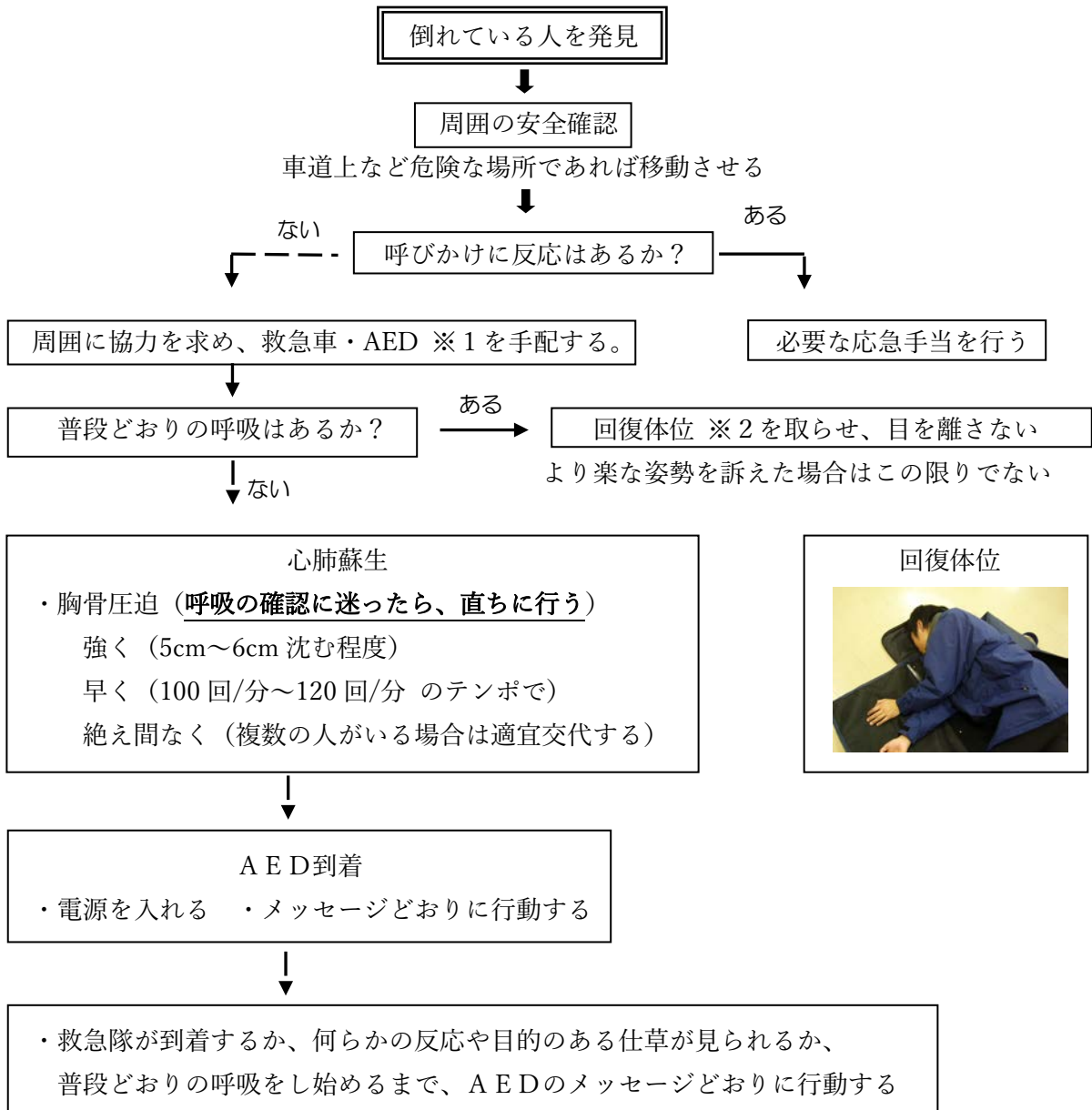
そこで、呼吸停止の場面では寸秒を争ってAEDの使用・人工呼吸・心臓マッサージをしなければなりません。そして、その応急手当を行う人こそ、その場面に居合わせた「あなた」なのです。

【図1：ドリンカーの救命曲線】



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用

(2) 救命処置の手順



\*\*\*\*\*

※1 AED

AEDは、心室細動状態か否かを、心停止者の胸部に貼り付けた電極から得られる心電図を基に自動的に判断し、心室細動状態と判断された場合にのみ、電気ショックを与える機器です。使用者は、音声ガイダンスに従い、電極を対象者の胸部へ貼り付け、解析の開始と判断待機、解析結果に基づく電気ショックボタンを押すだけで済み、高度な専門知識を必要としません。

※2 回復体位（昏睡体位）

回復体位は、救急医療などの現場において気道確保を重要視した体位であり、意識はないが呼吸をしている場合、嘔吐物による窒息を防ぐため傷病者を側臥位（横向き）とし、下顎を前に出し、上側にくる腕と脚をくの字に曲げ、下側にくる腕を伸ばす体位です。



### (3) 応急手当

#### ① 意識障害の場合

脳卒中や瞬間意識消失、日射病、脳貧血などで生命にかかわることが多いので、慎重に扱い医師の指示に従うこと。

- a) 揺すったり、水をかけたりしない。
- b) 倒れたままの体位で、気道を確保する（頭を後ろに曲げてのどを伸ばす）。
- c) 身体をそっと横向きにする（意識の無い時、窒息させないため）
- d) 保温する。

#### ② 出血がある場合

出血がある場合は、「直接圧迫止血」を行う。これは出血部位にタオルなど清潔な布をあてて、強く圧迫する方法である。絶え間なく圧迫を行うと止血効果は高い。血液に触れないよう、ビニール袋等で手を覆ってから行う。布に血がにじんでくる場合には上から新たな布を足し、傷口が開いてしまうため、出血部位に直接あてた布は絶対にはがさない。三角巾もあれば適宜活用する。

出血量が多い場合には速やかに救急車を呼び、輸血に備え意識を失う前に血液型を確認しておく。

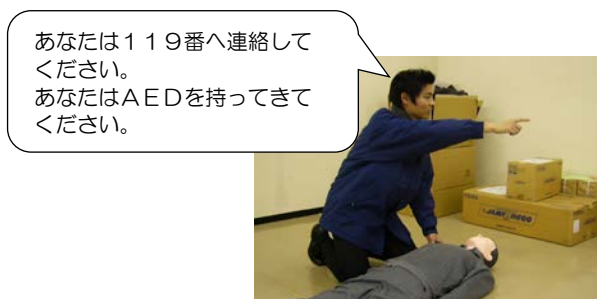
#### ③ 倒れている人を見かけた場合

a) 肩を叩きながら声をかける



⇒返事があれば「安心する言葉」をかける。

b) 返事がなかったら・・・



⇒119番通報とAEDを持ってくるよう依頼する。

c) 呼吸の有無を調べる。



⇒胸腹部が上下するかを観察し、判断に迷う場合は直ちに胸骨圧迫を行う。

d) 呼吸がなかったら心肺蘇生法（心臓マッサージ）



⇒ 手の付け根部分で、1分間に100～120回、胸が5～6cm沈むよう垂直に圧迫する。（肘は曲げない）。

⇒ 胸を圧迫した後はしっかりと胸を元に戻し、確実にポンピングする。

⇒ この処置を救急車・AEDが到着するまで繰り返す。

※心臓マッサージは、正しく行えば大きな効果が得られます。呼吸が停止しても、人間の血液中には10分程度生存できる量の酸素が含まれています。心臓を動かし、脳へ酸素をポンプアップすることで、生存率を高めて後遺症のリスクを減らすことができます。ときには、1時間もかかって効果が現れる場合もありますので、根気よく続けることが重要です。（注意：必ず背中に厚い板を入れる等、硬い面の上で行うこと。）

③ 熱射病・熱中症の場合

暑い日の限界を超えた運動により、熱放散ができず、体温が40℃を超えた時に発症することがあります。発症した場合は患者を涼しい場所へ移し、衣服をゆるめて、冷水で体を冷やし、周囲から仰ぐようにします。鼠径部（股関節）の周囲を冷やすと効果が早く現れます。痙攣や出血が止まらない場合や、反応がおかしい場合、意識がない場合には、速やかに救急車を呼んでください。

④ 打撲・捻挫・肉離れの場合

打撲、捻挫、肉離れなどの場合は「RICE」の処置といって、「Rest…局所を安静に保ち、Ice…氷で冷やし、Compression…軽い圧迫を加え、Elevation…心臓より高く上げる」等の処置が必要です。

⑤ 骨折の場合

《判断》

- 患部がはれる。
- 動かしたり、触れたりすると激しい痛みがある。
- 動かせなくなる。
- 形や皮膚の色が変わってくる。
- ひどい時は、折れた骨が皮膚を破って出血を伴う。

《処置》

- 骨折部を安静にする。
- 副子（※）を当て、動かさないようにする。  
 ※副子：骨折や関節炎などの固定包帯に用いられる装具のことです。ケガをした部位によって木、割り箸、鉛筆、定規、ダンボールなどを使用しますが、必ず、長さ・幅・硬さが十分あるものを使用してください。副子は、骨折している箇所の上下の関節を合せて固定します。その上から、三角巾やタオルなどで縛り、固定してください。
- 副子を当てたら、約30分おきにしびり具合をみる。
- 出血や腫れによる血行障害を起こすことがあるため
- 痛みの激しい部分を冷やす。
- 傷があれば、洗わずに清潔な布やガーゼを当てておく。
- 突き出した骨を押し込んだりしないこと。
- 取扱いに注意して、医師の診断を受ける。

(4) 119番通報時の注意

- ① 学内で事故が発生した際には、まず保健管理センターへ一報すること。
- ② 119番につながったら、5W1Hを落ちついてはっきりと伝えること。
- ③ 「この後どうすればよいですか？」と指示を仰ぐこと。
- ④ 消防の通信指令員がよいと言うまで電話を切らないこと。

【各キャンパスのAED設置場所】

校舎	設置場所		
神楽坂	1号館1階玄関前	2号館1階ホール	3号館1階EV前
	5号館1階入口学科事務室前 地下3階体育館横	10号館1階EV前	ポルタ6階EV前
富士見	1階保健室前	2階食堂ホール	4階PCサポート室
	6階EV前		
葛飾	講義棟1階入口 保険管理センター前	研究棟東1階、5階	研究棟西1階
	体育館棟1階	図書館棟1階	学生食堂1階
野田	2号館警備員室	3号館玄関ホール	4号館玄関ホール
	6号館玄関ホール	厚生棟1階保健管理センター	10号館警備員室
	12号館玄関ホール	15号館警備員室	講義棟1階中央階段裏
	カナル会館1階玄関	生命研警備員室	学生研修センター受付ホール
	部室棟1階西側	体育館玄関ホール	トレーニングルーム玄関
長万部	1号館エントランスホール 警備員室	エソール会館1階風除室	男子寮1号棟2階、3階、 4階チューターラウンジ
	1号館1階女子トイレ横	女子寮1階談話室	体育館2階用具室横

## 16. 飲酒事故防止

例年、『新歓コンパ』『追いコン』『学園祭』時等に、アルコール中毒により病院に運ばれるという事故が報道で伝えられています。

飲酒の適量は一人一人違うものであり、その日の体調によっても左右されるものです。また、適量であっても一気に飲むと危険です。飲酒の強要や未成年飲酒は、犯罪行為であり、最悪の場合、生命にかかわる事態にもつながります。

本学は社会的に一定の評価を得ており、軽拳妄動は慎まなければなりません。飲酒が禁じられている未成年者も含まれていることを理解し、飲酒により周囲へ迷惑行為をかけた、生命にかかわるような危険な状態に陥ってしまうことなどは、厳に慎まなければなりません。万が一泥酔者が発生した場合は、絶対に目を離さず、医療機関へ速やかに搬送してください。

飲酒による事故は、一人一人の自覚で未然に防げるものであり、各クラブ責任者には、こうした事故が起こらないよう、十分に注意する義務があります。また、下級生などは無理強いや一気に飲みを強制されても断る勇気を持ちましょう。

### 【飲酒事故例】

- ① 大学付近路上において、酒の一気飲みを集団で行った上、公道を競走するという危険な行為を行った。
- ② イベントにて泥酔者を出し、部員が背負って介護をしていたところ、泥酔者が頭部から地面に落ち、救急車で搬送された。

## 17. 個人情報の取扱い

クラブの部員間で連絡をとるのに利用する携帯電話番号・メールアドレスなど、クラブ内では多くの個人情報を所持しているかと思います。

個人情報は個人のプライバシーにかかわる問題であり、万が一、第三者に個人情報が渡ってしまった場合、悪用されたり、不正に利用されたりして、個人に被害が及ぶこともあります。それを未然に防ぐためにも、取扱いには十分注意してください。特に、以下の点に注意してください。

- ① 個人情報の入った記録メディア（HDD、USBメモリなど）は厳重に管理する（保管者を部長等に限定する、パスワードをかける、不用意に持ち歩かない等）。
- ② 公演・展示会などでアンケートをとる場合は、必要な情報のみに限定する（不要な個人情報はなるべく持たないようにする）。
- ③ SNSを含むWebの使い方には注意し、軽率な情報発信をしない。

## 18. 学生表彰

本学では、課外活動において優秀な成績・功績のあった団体、個人に対し表彰を行っています。

表彰の選考はスポーツ、文化、芸術、芸能、社会活動等を対象とし、年度ごとに各クラブ顧問、および団体等に対して候補者の推薦を募り、学内の審議を経て決定しています。

### ○ 2019 年度受賞一覧

#### ■東京理科大学 学生表彰（学長名）

山田 真生	理学部第二部 数学科 3年	I 部文化会	囲碁部
・国際アマチュアペア碁世界選手権大会 5 位、全日本学生本因坊決定戦 準優勝 他			
栗田 佳樹	工学部 工業化学科 2年	I 部文化会	囲碁部
・世界学生ペア碁選手権大会 8 位、全日本学生本因坊決定戦 優勝 他			
和田 陽介	経営学部ビジネスエコノミクス学科 4年	I 部体育局	舞踏研究部
・全日本学生競技ダンス選手権大会 タンゴの部 優勝 他			

#### ■学生支援センター長賞

藤本 能有	理工学部 機械工学科 2年	I 部体育局	陸上競技部
・14 大学対校陸上競技会男子 5000m 優勝、陸上競技記録会男子 10000m 全国大会標準突破 他			
河合 真刀	経営学部 ビジネスエコノミクス学科 3年	—	—
本間 有貴	工学部 工業化学科 3年	—	—
・Hult Prize 2019 世界地域予選ホーチミン大会出場 他			

#### ■学生支援センター奨励賞

荒幡 寛人	理工学部 数学科 3年	I 部体育局	陸上競技部
・関東理工系学生対校陸上競技大会男子 3000m障害 優勝 他			
海老原 雄輝	工学研究科 建築学専攻 修士 2年	I 部体育局	陸上競技部
・関東学生陸上競技対校選手権大会男子 3 部 100m決勝 優勝 他			
小島 祐樹	工学部 電気工学科 2年	I 部体育局	陸上競技部
・関東学生陸上競技対校選手権大会男子 2 部走幅跳決勝			
高木 小夏	工学部 工業化学科 3年	—	—
・Hult Prize 2019 世界地域予選ホーチミン大会出場			
I 部体育局	バレーボール部		
・2019 年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦 4 部 優勝 (3 部昇格) 他			
I 部体育局	陸上競技部		
・関東理工系学生対校大会 男子総合準優勝、女子総合準優勝 他			

#### ■感謝状

I 部体育局 局長 片桐 啓貴	工学部 工業化学科 4年、	他 本部役員 13 名
II 部体育会 会長 中野 聡美	理学部第二部 数学科 4年、	他 本部役員 6 名
・傘下団体をまとめ、本学の行事等に積極的に参加し、課外活動の発展に貢献した。		
神楽坂地区 理大祭実行委員会、野田地区 理大祭実行委員会、葛飾地区 理大祭実行委員会		
・各キャンパス理大祭の開催を立案、企画、運営し、成功を収めた。		
葛飾地区	みらい研究室実行委員会	
・みらい研究室の開催を立案、企画、運営し、成功を収めた。		
神楽坂地区	神楽坂吹奏楽団	
・大子研修センターにおいて住人を招いて演奏会を開催、長年にわたり地域に貢献した。また、台風により甚大な被害を受けた住民を励ますため、OB・OG 有志と合同で演奏会を開催した。		

○ 2018 年度受賞一覧

■ 東京理科大学 学生表彰 (学長名)

山田 真生	理学部第二部 数学科 2年	I 部文化会	囲碁部
・全日本学生囲碁最強位戦 優勝、全日本学生本因坊決定戦 ベスト 8 他			
栗田 佳樹	工学部 工業化学科 1年	I 部文化会	囲碁部
・世界学生ペア碁選手権 7位、朝日アマチュア囲碁名人戦 優勝 (アマ名人位獲得) 他			
國井 響介	工学部第二部 建築学科 4年	I 部体育局	舞踏研究部
・全日本学生競技ダンス選手権大会ルンバの部 1位 他			
仲谷 滉祐	理工学部 応用生物科学科 4年	I 部体育局	弓道部
・全日本弓道大会 優勝			
李 大希	基礎工学部 電子応用工学科 2年	I 部体育局	弓道部
・世界ロープスキッピング選手権大会 ダブルタッチシングルフリースタイル 2位			
川上 奏	工学部 機械工学科 4年	—	—
・FIA グランツーリスモチャンピオンシップ ワールドファイナル マニファクチャラーシリーズ 優勝			
寺西 未有	経営学部 経営学科 2年	—	—
・全国学生英語プレゼンテーションコンテスト個人の部 第6回奨励賞、第7回優秀賞			
I 部体育局	ソフトボール部		
・全日本大学選手権大会 ベスト 8、関東学生男子ソフトボール I 部リーグ戦 春・秋 優勝 他			

■ 学生支援センター長賞

新居 聡彦	理学部第一部 数学科 2年	I 部研究会	応用数学研究部
・国際大学対抗プログラミングコンテスト ACM-ICPC2018 国内予選 突破 等			
大川 快	理学部第一部 応用数学科 2年	I 部研究会	応用数学研究部
・国際大学対抗プログラミングコンテスト ACM-ICPC2018 国内予選 突破 等			
中神 伶	理学部第一部 応用数学科 2年	I 部研究会	応用数学研究部
・国際大学対抗プログラミングコンテスト ACM-ICPC2018 国内予選 突破 等			
秋澤 一史	理工学部 物理学科 4年	I 部研究会	応用数学研究部
・IPA (情報処理推進機構) 2018 年度「未踏アドバンス事業」採用			
大前 亮一	理学部第一部 応用数学科 3年	I 部研究会	応用数学研究部
・IPA (情報処理推進機構) 2018 年度「未踏アドバンス事業」採用			
川口 航平	理工学部 情報科学科 4年	野田文化会	囲碁部
・全日本学生囲碁十傑戦 5位			
中野 元太	理学研究科 応用物理学専攻 修士1年	葛飾研究会	M i c e
・全日本学生マイクロマウス大会 クラシックマウス競技 2位 等			
吉田 勇耶	理工学部 数学科 4年	—	—
・全日本バトントワーリング選手権大会 ソロトワール 7位 等			
熊田 凌	理工学研究科 数学専攻 修士1年	I 部体育局	陸上競技部
・全日本学生陸上競技個人選手権 男子 110m ハードル 12位 等			
海老原 雄輝	工学研究科 建築学専攻 修士1年	I 部体育局	陸上競技部
・天皇賜盃日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子 100m 出場 等			
小川 晃平	工学部第二部 建築学科 4年	II 部体育会	舞踏研究部
・全日本学生競技ダンス選手権大会 チャチャチャの部 6位 他			

## ■学生支援センター奨励賞

石崎 一輝	工学部第二部 経営工学科 4年	I部体育局	ソフトボール部
・関東学生男子ソフトボール春季大会リーグ戦I部 最優秀選手賞			
東山 宗央	理工学部 建築学科 3年	I部体育局	ソフトボール部
・関東学生男子ソフトボール秋季大会リーグ戦I部 最優秀選手賞			
松嶋 良真	理工学部 先端化学科 2年	I部体育局	サッカー部
・千葉県大学サッカーI部リーグでの活躍により、千葉県大学選抜チームに選出			
内田 直哉	経営学部 ビジネスエコノミクス学科3年	I部体育局	男子ラクロス部
・ラクロス・つま恋・スプリングカップ 第二ターム MVP (最優秀選手)			
寶澤 駿	工学研究科 機械工学専攻 修士1年	葛飾研究会	M i c e
・全日本学生マイクロマウス大会 マイクロマウス競技 2位 等			
上村 起生	理工学部 機械工学科 3年	I部体育局	軟式庭球部
・関東理工科系大学ソフトテニス連盟 個人戦 優勝			
幸坂 泰輔	理工学部 土木工学科 2年	I部体育局	軟式庭球部
・関東理工科系大学ソフトテニス連盟 個人戦 優勝			
城市 慧大	工学部第二部 経営工学科 4年	II部体育会	舞踏研究部
・全日本学生競技ダンス選手権大会 スローフォックストロットの部 11位			
平野 快	理工学部 先端化学科 3年	I部体育局	陸上競技部
・関東理工系学生対校陸上競技大会 男子10000m 優勝 他			
荒幡 寛人	理工学部 数学科 2年	I部体育局	陸上競技部
・日本学生陸上競技個人選手権 男子3000m 障害 出場 他			
寺坂 優里	理工学部 応用生物科学科 2年	I部体育局	舞踏研究部
・全日本学生競技ダンス選手権大会 クイックステップの部 11位			
鈴木 和志	理学部第二部 物理学科 2年	II部体育会	舞踏研究部
・全日本学生競技ダンス選手権大会 クイックステップの部 11位			
野田文化会	機械工学研究会		
・全日本学生フォーミュラー大会 自動車工業会長賞受賞 総合成績 12位			
I部体育局	陸上競技部		
・関東理工系学生対校大会 男子総合準優勝、女子総合準優勝 他			

## ■感謝状

I部体育局 局長 杉田 達哉	理学部第一部 物理学科 4年、 他 本部役員 15名
・I部体育局傘下団体をまとめ、本学の行事等に積極的に参加し、課外活動の発展に貢献した。	
II部体育会 会長 田中 友也	理学部第二部 化学科 4年、 他 本部役員 3名
・II部体育会傘下団体をまとめ、本学の行事等に積極的に参加し、課外活動の発展に貢献した。	
神楽坂地区 理大祭実行委員会、 野田地区 理大祭実行委員会、 葛飾地区 理大祭実行委員会	
・各キャンパス理大祭の開催を立案、企画、運営し、成功を取めた。	
葛飾地区	みらい研究室実行委員会
・みらい研究室の開催を立案、企画、運営し、成功を取めた。	



## 19. クラブ一覧表

※キャンパス表記は各クラブの本部所在地であり、どのキャンパスの学生でも、各クラブに入部できます。

### 神楽坂キャンパス

#### < I 部体育局 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
体育局本部	北林 保	理一教養	少林寺拳法部	庄野 厚	工学工化
合気道部	高橋 治	工学建築	水泳部	北林 保	理一教養
アイスホッケー部	片山 七三雄	理二教養	卓球部	樋口 透	理一応物
ウエイトトレーニング部	中丸 禎子	理一教養	軟式野球部	関谷 和之	経営経営
弓道部	矢崎 弥	理一教養	バスケットボール部	坂田 英明	理一物理
剣道部	北田 伸一	理一教養	バドミントン部	小林 宏	工学機械
硬式野球部	宮川 宣明	理一応物	舞踏研究部	下仲 基之	理一化学
サッカー部	安田 直樹	経営経営	洋弓部	栗田 哲	工学建築
山岳部	田所 誠	理一化学	男子ラクロス部	榎本 真哉	理一化学
柔道部	佐々木 健夫	理二化学			

#### < I 部文化会 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
囲碁部	小池 直之	理一数学	美術部	小池 直之	理一数学
映画研究部	関川 浩	理一応数	落語研究会	中丸 禎子	理一教養
管弦楽団	鎌倉 高志	理工応生	放送研究部	吉田 孝博	工二電気
混声合唱団	築山 光一	理一化学	歌う友の会	眞田 克典	理一数学
将棋部	庄野 厚	工学工化	神楽坂一丁目通信局	柳田 昌宏	理一応数

#### < I 部研究会 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
応用数学研究部	関川 浩	理一応数	化学研究部	宮村 一夫	理一化学
生物研究部	河合 英敏	理一化学	数学研究部	加藤 圭一	理一数学
物理研究部	徳永 英司	理一物理	天文研究部	松下 恭子	理一物理



< I 部同好会・その他 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
古典ギター同好会	三浦 和彦	理一物理	モダンジャズグループ	近藤 行成	工工化
赤十字奉仕団	工藤 昭彦	理一応化	杖道・居合道部	橋詰 峰雄	工工化
Fish in Fins	田中 優実	工工化	神楽坂吹奏楽団	樋口 透	理一応物
特許研究部	生越 由美	専門 MIP	東京理科大学ギター部	山根 里香	経営経営
卒業アルバム委員会	中丸 禎子	理一教養	アか <sup>ハ</sup> ラサ <sup>ル</sup> Pe☆rappella	山根 里香	経営経営
奇術同好会	神野 潔	理一教養	書道部	橋口 博樹	理一応数
動画研究同好会	河合 武司	工工化			

< II 部体育会 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
体育会本部	村上 貴聡	理一教養	スキー部	矢崎 弥	理一教養
合気道部	梅村 和夫	理二物理	卓球部	下川 朝有	理二数学
剣道部	下川 朝有	理二数学	ソフトテニス部	西尾 太一郎	理二物理
硬式庭球部	秋津 貴城	理二化学	軟式野球部	下川 朝有	理二数学
蹴球部	西尾 太一郎	理二物理	排球部	佐藤 隆夫	理二数学
山岳部	青木 健一	理二化学	籠球部	趙 新為	理二物理
柔道部	宇津 栄三	理二教養	舞踏研究部	下仲 基之	理一化学

< II 部文化会 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
器楽アンサンブル	山田 康洋	理二化学	うたふ会	小谷 佳子	理二数学
神楽坂写真部	小谷 佳子	理二数学	放送研究部	小谷 佳子	理二数学
美術部	下川 朝有	理二数学			

< II 部研究会 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
生物研究部	河合 英敏	理一化学	無線研究部	秋津 貴城	理二化学
化学研究部	秋津 貴城	理二化学	天文研究部	松下 恭子	理一物理
地球科学研究部	下川 朝有	理二数学	数学研究部	佐藤 隆夫	理二数学

< II部同好会・その他 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
フォーク村	佐竹 彰治	理二化学	ゲームサークル・ポレトレ	小谷 佳子	理二数学
漫画研究部	西川 英一	工二電気			

< 神楽坂届出団体 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
学友会常任委員会			軽音 POP		
理大祭実行委員会			料理研究会		
新聞会			硬式庭球同好会 MILK	横田 智巳	理一数学
弓道さきがけ	河合 武司	工学工化	chibi lab	青木 健一	理二化学
軽音クロスオーバー			文具研究同好会		
東京理科大学文芸座			留学生会		
東京理科大学ルービックキューブサークル			フットサルサークル紫陽花		
ソフトボールオーガスト			Hurt prize 東京理科大学	榎本のぞみ	理一教養

野田キャンパス

< 野田体育局 >

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
体育局野田支部	柳田 信也	理工教養	スキー部	関 陽児	理工教養
合気道部	牧野 公子	薬学薬学	ソフトボール部	柳田 信也	理工教養
アメリカンフットボール部	上野 一郎	理工機械	卓球部	浅井 英樹	理工教養
弓道部	坂本 徳仁	理工教養	軟式庭球部	木村 真一	理工電情
剣道部	佐藤 憲一	理工教養	ハンドボール部	市村 志朗	理工教養
航空部	塚原 隆裕	理工機械	バスケットボール部	清岡 智	理工教養
硬式庭球部	日比野浩典	理工経営	バドミントン部	谷口 淳	基工電子
硬式野球部	柳田 信也	理工教養	バレーボール部	塚本 良道	理工土木
準硬式野球部	伊藤 稔	理工教養	ボクシング部	松本 靖彦	理工教養
サッカー部	向本 敬洋	理工教養	男子ラクロス部	伊藤 浩行	理工数学
少林寺拳法部	清岡 智	理工教養	女子ラクロス部	衣笠 秀行	理工建築
自動車部	松崎 亮介	理工機械	ラグビー部	今村 武	理工教養
柔道部	明石 重男	理工情報	陸上競技部	原田 拓	理工経営
水泳部	國分 淳	理工教養	洋弓部	伊藤 稔	理工教養
吹奏楽部	酒井 秀樹	理工先端			

<野田文化会>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
野田文化会本部	溝口 博	理工機械	美術集団	岩岡 竜夫	理工建築
囲碁部	田口 速男	理工応生	物理研究会	矢口 宏	理工物理
英語研究会	折田 奈南	理工教養	映像研究会	渡邊 昇	理工情報
化学研究会	郡司 天博	理工先端	薬理班	内呂 拓実	薬学生創
機械工学研究会	川口 靖夫	理工機械	書道部	松本 靖彦	理工教養
ギター部	福元 好志	理工物理	VOICE TRAINING 部	東平 光生	理工土木
グリークラブ	前田 譲治	理工電情	ボランティアサークル ココサボ	市川 寛子	理工教養
茶道部	出口 浩	理工土木	数学研究会	滝本 宗宏	理工情報
軽音楽ジャズ研究会	溝口 博	理工機械	A D M E	青木 伸	薬学生創
軽音楽ロック研究会	溝口 博	理工機械	和太鼓サークル 樹	星 伸一	理工電情
天文研究会	鈴木 英之	理工物理	マジックサークル PALM	桂田 浩一	理工情報
電気工学研究会	兵庫 明	理工電情	坊ちゃん Lab	古屋 俊樹	理工応生

<野田同好会>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
野田同好会本部	伊藤 稔	理工教養	テニス虫の会	古市 貞一	理工応生
劇団ポコポコ	高橋 昭如	理工機械	将棋部	青木 宏樹	理工数学
古典ギター同好会	樋口 健一	理工電情	N.A.Sフットサルクラブ	佐藤 憲一	理工教養
基礎スキー同好会 BLITZ	鈴木 知道	理工経営	Yosakoi ソーラン部	伊藤 稔	理工教養
電子計算機研究会	桂田 浩一	理工情報	Aircraft Makers	塚原 隆裕	理工機械
軟式野球サークル	藤本 憲次郎	理工先端	TUSCOM	桂田 浩一	理工情報
二輪会	野口 昭治	理工機械	ロボットクリエイターズ	溝口 博	理工機械
ハイキング同好会	中山 泰生	理工先端	空手同好会	松本 靖彦	理工教養
漫画研究会	村岡 正宏	理工機械	ジャグリング DOMINUS SOMNI	古市 貞一	理工応生
ユースホステル	岩下 登志也	理工教養	ものづくりサークル Create	山本 隆彦	理工電情
ろっころ (硬式テニス)	市村 志朗	理工教養	軽音楽・工作研究会 ACT!!	今村 武	理工教養
探検部 ROVERS	今村 武	理工教養	GASSES (ストリートダンス)	伊藤 稔	理工教養
鉄道研究会	寺部 慎太郎	理工土木	音楽研究会	近藤 剛史	理工先端
ピアノの会	堀田 義太郎	理工教養	サイクリング同好会	仲吉 信人	理工土木

<野田届出団体>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
ジャイロ (軟式野球)	樋上 賀一	薬学生創	競技かるた同好会		
ロクオンス (ビリヤード)			メディアアートサークルC4S	松田 一郎	理工情報
Chop-Stick (軟式テニス)			チアリーディング部SIRIUS	明石 重男	理工情報
漫画読会			フィギュアスケート部	鈴木 智順	理工教養
文芸サークル Clock			K-POPダンス KOOLGEM		
アルティメットサークルCEU			宇宙クラブ	米本 浩一	理工機械
利根運河シアターナイト実行委員会					

葛飾キャンパス

<葛飾体育局>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
体育局葛飾支部	矢崎 弥	理一教養	ハンドボール部	北林 保	理一教養
空手道部	佐々木 健夫	理二化学	ヨット部	長井 達夫	工一建築
硬式庭球部	倉渕 隆	工一建築	スキー部	徳永 英司	理一物理
バレーボール部	松下 恭子	理一物理	ゴルフ部	慎 蒼健	工一教養

<葛飾文化会>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
英語研究部	片山 七三雄	理二教養	演劇部 (羅夢駝)	宮村 一夫	理一化学
写真部	宮川 宣明	理一応物			

<葛飾研究会>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
無線研究部	吉田 孝博	工二電気	Mice	中村 文一	理工電情

<葛飾同好会・その他>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
サイクリング同好会	伊藤 拓海	工一建築	DJ&DANCE AQUARIUS	慎 蒼健	工一教養
漫画研究同好会	河合 武司	工一工化	鳥人間サークル-鳥科	山本 誠	工一機械
鉄道旅行クラブ	小泉 裕孝	工一電気	アカベラサークルchum	宮川 宣明	理一応物
イアエステ	渡辺 一之	理一物理			

<葛飾届出団体>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
葛飾友理会			ホワイトリバー		
理大祭実行委員会			みらい研究室	西川 英一	工二電気
非電源ゲーム研究会 葛飾Edition			オリエンテーリングクラブ		
金町食文化研究会			情報技術クラブ		
手芸・クラフトサークル BEADS			フットサル LAIDBACK		

長万部キャンパス（昨年度実績）

<長万部運動部>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
バドミントン部			弓道部		
よさこい DANCE 部			バレーボール部		
パワーリフティング部			男子バスケットボール部		
硬式テニス部			女子バスケットボール部		
野球部			サッカー部		
ゴルフ部			陸上競技部		

<長万部文化部>

クラブ名	顧問		クラブ名	顧問	
	氏名	所属		氏名	所属
軽音楽部			釣り部		
吹奏楽部			茶道部		
天文部			かるた部		

## 20. 課外活動関係内規抜粋

### 公認団体及び届出団体に関する学生支援センター内規（抜粋）

（趣 旨）

第1条 この内規は、東京理科大学（以下「本学」という）の学生が組織する公認団体（以下「公認団体」という）及び届出団体（以下「届出団体」という）に関する事項を定めるものとする。

（定 義）

第2条 （1）公認団体 本学が公認する顧問を配した団体  
（2）届出団体 本学が届出を受理した団体

（顧 問）

第3条 顧問は、本学の専任講師以上の教育職員とする。

（承認及び受理）

第4条 公認団体の承認及び届出団体の受理については、東京理科大学における公認団体及び届出団体に関する学生支援センター審査要項に定める。

（書類の提出等）

第5条 公認団体及び届出団体は、次の事項を遵守するものとする。

- （1）当該年度の活動届の提出（毎年度初め）
- （2）部員名簿の提出（毎年度初め）
- （3）試合届、合宿届その他の諸手続きの提出
- （4）団体規約の保管
- （5）会計に関わる帳票の保管（当該年度の翌年度から起算して4年間）
- （6）本学が行う会計監査の受諾

（活動の休止等）

第6条 公認団体又は届出団体から活動休止願が提出された場合、当該活動休止願を受理した日から1年間に限り活動の休止を認めることができる。ただし、活動休止延長願が提出された場合、1回に限り1年の範囲内で活動休止の延長を認めることができる。

- 2 前項に規定する活動休止中の団体から活動再開願が提出された場合、活動の再開を許可することができる。

（承認の取消等）

第7条 次の各号のいずれかに該当する公認団体又は届出団体に対して、学生支援センター運営委員会の議を経て、施設使用の禁止、活動の停止、承認又は受理の取消等の措置を講ずることができる。

- （1）東京理科大学における公認団体及び届出団体に関する学生支援センター審査要項第8項の各号のいずれかに該当した団体
- （2）第5条に規定する事項の全部または一部を遵守しない団体
- （3）前条に規定する活動休止中の団体で、当該活動を再開しているにもかかわらず、活動再開願を提出していない団体

(4) 本学の名誉を傷つける行為をなした団体

(5) その他学生支援センター運営委員会が必要と認めた場合

(雑 則)

第8条 この内規の施行に関し必要な事項は、別に定める。

### 課外活動貸付金内規 (抜粋)

(目 的)

第1条 この内規は、課外活動団体に資金の貸付を行い、課外活動を助成するとともに課外活動貸付金に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付対象団体の資格)

第2条 貸付対象団体の資格(以下、「申請団体」という)は、『公認団体に関する内規』第2条に規定される団体で5年以上の活動実績のあるところとする。

(貸付金の限度額)

第3条 貸付金の限度額は、1団体200万円とする。ただし、特別の事情がある場合は限度額を超えて貸付けることができる。

(再貸付)

第4条 貸付の返済を完了した団体に対しては、再度資金を貸付することができるものとする。

(利 息)

第5条 貸付金に利息は設けない。

(返済期間)

第6条 返済期間は、次の各号の年限を超えないものとする。

ただし、大型備品の購入については当該備品の耐用年数の範囲内とする。

1 貸付金額が100万円までの貸付について 4年

2 貸付金額が200万円までの貸付について 8年

(貸付の申請)

第7条 貸付金の申請は、次に掲げる事項のいずれかに該当する場合とする。

1 長期に利用できる大型備品を購入する場合

2 突発的な事故により特別な支出が必要な場合

(貸付申請時期)

第8条 申請団体は、第7条第1項第2号による場合を除き、課外活動助成金の申請時に課外活動貸付金申請書(様式第1号)に課外活動貸付金返済計画書(様式第2号)を添え、学生支援センター長に提出しなければならない。

(貸付の決定)

第9条 前条の申請に対し、学生支援センター長は学生支援センター運営委員会の議を経て貸付金の額を決定し、その旨を申請団体に通知するものとする。

2 申請団体は、課外活動貸付金決定通知書(様式第3号)の交付を受けたときは、課外活動貸付金借用証書(様式第4号)を提出しなければならない。

(担 保)

第10条 貸付に対する担保は設けない。

(返済方法)

第11条 返済方法は原則として課外活動助成金と要返済額に充当するものとし、課外活動貸付金決定通知書(様式第3号)の返済方法により返済しなければならない。

### 東京理科大学公認団体等に関する会計監査内規(抜粋)

(目 的)

第1条 この内規は、「公認団体等に関する内規」第4条第1項第5号の規定により会計監査(以下、「監査」という)に関する事項を定めることを目的とする。

(対 象)

第2条 監査は、「公認団体等に関する内規」第2条に規定する公認団体に対して学生支援センター長が実施する。

(手 続)

第3条 監査対象となった公認団体は、所定の期日までに学生支援センター長へ監査対象年度の「出納帳」、「領収書帳」、「部費等納入帳」等、監査に必要な書類を提出しなければならない。

2 監査は定時監査および臨時監査とする。

3 定時監査は年1回、期日を指定して実施する。

4 臨時監査は必要に応じ実施する。

5 学生支援センター長は監査結果を学生支援センター運営委員会に報告するものとする。

(罰 則)

第4条 監査に応じない公認団体は学生支援センター運営委員会の議を経て、公認団体の承認を取り消す。

2 監査の結果、不適切な使用があったと認められる場合には、学生支援センター運営委員会の議を経て、課外活動助成金等の減額または停止など必要な措置を行う。



# 【様式A】

2020年 月 日 提出

## 2020年度 課外活動届 (公認団体・届出団体 ←どちらかを削除する)

名称	I・II部 局・会・野田・葛飾 ←ひとつつ囲む					部印
顧問	学部	学科	役職	氏名		印
学生代表者	学部	学科	役職	氏名(学籍番号)		印
活動目的	活動内容					
部員数	学年	1	2	3	4	院 計
	男子					
	女子					
	合計					
部員1人当たりの活動費		月額 円		創部年月		
年額 円		任意保険の加入		有・無 有の場合は保険名↓		
現在の役員任期		年 月 ~ 年 月		幹事交代時期 月 決算期間 2019年4月1日~2020年3月31日		
部室	有・無	神楽坂: 号館 階 室、その他:				
	※有: 部室使用申請書を必ず提出すること	葛 飾: 体育館 階 室、その他: 野 田: 部室棟 階 室、その他:				
主な練習場所と頻度	場所	曜日				
		時間				
クラブe-mail ※添付ファイルが受信できるアドレスを記入						
学内外からの問い合わせに連絡先を公表 する・しない サークルHPに公表 ←ひとつつ囲む↓						
クラブのHP、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等 有・無 有の場合下記URL						
+						
+						
加盟団体・選奨等	名称	TEL				
	名称	TEL				
所属リーグ	詳細に記入して下さい。【例:関東理工系II部リーグ(I部・5校 II部・5校)】					
学外の監督・指導者・コーチ						
1. 氏名(年齢)	(才)	契約書	有・無	報酬	有・無	
2. 氏名(年齢)	(才)	契約書	有・無	報酬	有・無	

# 【様式B】

年 月 日

## 2020年度 部員名簿

所属	I部 ●●●	団体名称	●●●●●●部
顧問	●●●●		

<提出方法>  
①作成後(部員増減による変更後)、データをメールで送ってください。件名「団体名 2020年度部員名簿」  
[提出先: ●●●●●●@admin.tus.ac.jp]  
②大学から送る受領メールを確認してください。  
<注意事項>  
・未成年者は、提出日を基準日として、該当する部員に○をつけてください。  
・本名簿は警備員室の部室鑑の受渡し時に使用します。役職/学年に関係なく学籍番号順で作成ください。

No.	役職	学籍番号	学年	未成年	氏名	ふりがな	電話番号	試合の参加
1	部長	98765432	4	○	理科大太郎		000-0000-0000	○
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

# 【様式C】

## 2020年度 年間行事予定表

団体名: I部 ●●●● ●●●●部

開催予定月	行事		開催場所	参加者数	昨年実績
	予定日	(大会・試合・合宿・発表会、その他)	(県・市町村・会場名)	(部員)	(有・無)
4月	11日	新歓ガイダンス、新入生歓迎活動	野田キャンパス	約20名	有
5月	3~5日	関東大学II部リーグ戦(春季)	千葉県A市総合グラウンド	約30名	有
6月	28日	全日本総合選手権千葉県予選	千葉県B市●●大学	約30名	有
7月					
8月	20日~26日	夏期合宿	長野県C市●●ホテル	約40名	有
9月	2日	全日本大学選手権大会	鹿児島県(会場未定)	約20名	無
10月	6~8日	関東大学II部リーグ戦(春季)	千葉県A市総合グラウンド	約40名	有
11月	28日	関東大学選手権	埼玉県D市●●大学	約40名	有
12月	16日	総会	千葉県E市●●店	約40名	有
1月					
2月					
3月	10日~14日	春期合宿	静岡県F市●●ホテル	約30名	有

特記事項	
------	--

# 【様式D】

●●●●年度 収支予想

(対象期間: ●●●●年4月1日~●●●●年●月●日)

団体名: I部 ●●●● ●●●●部

### 1. 収入

項目	金額	備考
課外活動支援金		
課外活動特別支援金等		
部(会)費		
前年度からの繰越金		
合計		

### 2. 支出

項目	金額	備考
外部施設使用料		
大会・試合参加費		
連盟登録費		
備品費		
学外指導員指導料(謝礼等)		
合宿費		
次年度への繰越金		
合計		

★収入と支出が同額となるよう作成してください。



# 【様式H】

学生支援センター長 殿

## 飲酒に係る誓約書

本団体は、飲酒に係る以下の事項を厳守することを誓約します。

- 不適切な飲酒および過度な飲酒の禁止
  - 泥酔者や怪我人が出るような飲酒の機会を設けない。
  - 飲酒する機会を過度に設けない。
  - 東京理科大学の学生として自覚を持ち、軽率妄動を慎む。
- 未成年飲酒の禁止
  - 未成年者による飲酒は法律違反であり、これを絶対にしない、させない。
  - 未成年者の飲酒、または未成年に飲酒を勧めるような状況を作らない。
- 飲酒強要の禁止
  - コールや煽りの有無を問わず、飲酒の強要をしない、させない。
  - ソフトドリンクを用意しない等、飲酒せざるを得ない状況を作らない。
- 事故の未然防止
  - 成年であっても過度の飲酒を未然に防止し、泥酔者を出さないよう注意する。
  - 一気飲み等、短時間で大量のアルコールを摂取する行為は絶対に行わない。
  - コールや煽り、未成年への飲酒勧誘など、不適切な行為があれば即刻中止する。
- 事故発生時の対応
 

万一、飲酒により危険な状況が発生した場合は、躊躇なく直ちに救急車の要請、医療機関への搬送等を行う。その際、関係者や顧問、大学等へ報告する。
- 団体における自助努力
 

以上の項目が遵守されるよう、団体内での共有・周知を徹底し、特に上級生は日常的に指導を継続する。
- 責任
 

以上の項目が遵守されなかった場合、いかなる処分も受け入れる。

署名日： 年 月 日

団体名： \_\_\_\_\_

代表者学籍番号： \_\_\_\_\_ 代表者氏名： \_\_\_\_\_ 印

# 【様式I】

2020年度 助成金等振込口座届

以下2種類のコピーを貼付してください。

- ①銀行名・支店名・店番号・口座名義人(通帳表紙等)が分かるページ ←通帳の表紙  
 ②口座名義人のカナ氏名が分かるページ ←通帳の表紙裏面

I部 ●●● ●●●●部

\*\*\* 以下 コピー貼付欄 \*\*\*

昨年度からの変更 (あり・なし) どちらかに○をつけてください。

# 【様式J】

## 2020年度 指導者名簿 (監督・師範・コーチ等)

※個人情報情報は本学からの事務連絡、各種案内などに用いますので正確に記載してください。

所属①	□ I部 (該当するほうを■) □ II部
②	(例) 体育局、文化会
クラブ名	

ご所属 卒業生・在校生・ 一般・教職員から選択	ご氏名	フリガナ	ご役職 (例: 指導)	ご連絡先		学籍番号 (例: 123-4567)	電話番号 (例: 03-1234-5678)
				ご住所	ご住所		

# 【様式K】

(西暦) 年 月 日

東京理科大学 学生支援センター長 殿

## 2020年度 部室使用許可申請書

団体名	公認・届出	
顧問名	学部	学科(教授・准教授・講師)
	氏名	印
学生責任者名	役職	学籍番号
	携帯電話番号	
	氏名	印

部室の使用を申請いたします。なお、使用にあたっては下記の事項を遵守し、返却の際は現状復帰いたします。

記

遵守事項	チェック
学生支援センター関係の諸規程を遵守し、公序良俗に反しないよう、公認団体・届出団体としての責務を果たします。	
課外活動の目的以外には使用いたしません。	
使用にあたっては、整理、整頓を心がけ、清潔に使用いたします。	
他に迷惑をかけないよう、騒音などには十分注意いたします。	
原状復帰できなくなる塗装や加工は行いません。	
学外者は立ち入らせません。	
盗難防止に留意し、特に貴重品の保管には万全をとめます。	
火気厳禁を厳守し、危険物(薬品等)の管理は厳重に行います。	
禁煙、禁酒を厳守いたします。	
鍵は複製しません。借用した鍵は、当日中に施設のうえ返却します。	
以上を遵守しなかった場合は、学生支援センターの指示に従います。	

場所	空欄を記入してください。		
	神楽坂キャンパス	号館	階
	葛飾キャンパス	体育館部室棟	階
	野田キャンパス	部室棟	階

期間	2020年4月1日 ~ 2021年3月31日
----	------------------------

以上

